

防災のヒント⑥

糸魚川市駅北大火のような災害は、いつどこで起きてもおかしくありません。いざという時に自分の身を自分で守れるように、また、少しでも災害を防ぐことができるように、日頃から防災知識を蓄えていきましょう。

消火器

持ち運びができて使い方も簡単なことから、火災時の初期消火器具として、とても有効です。

消火器の種類

消火器には、粉末消火器と強化液消火器、泡消火器、二酸化炭素消火器、ハロゲン化物消火器などがあります。

消火器の設置に適した場所

消火器の設置場所は、誰もが見やすく、持ち出しやすい場所にしましょう。

例えば

- 人目につきやすい玄関
- 階段近くの邪魔にならない踊り場
- 居間や寝室の目につきやすいところ
- 台所の入り口や台所に近い場所

※風呂場や洗面所などの湿気の多い所は避けましょう。

消火器の取扱い

消火器は普段よく目にするものですが、火を目の前にすると慌てて使い方がわからなくなってしまう人も少なくありません。いざという時に誰でも使えるようにしておくことが大切です。

粉末消火器の使用方法(3つの動作)

- 1 黄色の安全栓を上へ抜く。
- 2 ホースをもって火元に向ける。
- 3 レバーをにぎり火を消す。



※自分の身の安全を確保し、手前から火を消しましょう！
 ※天井に火が届いたら、消火をやめて避難しましょう！

REPORT

～イベントの様子を振り返る～
2018年6月16日(土)

第3回いといがわ復興マルシェ

にぎわい創出広場でいといがわ復興マルシェを開催しました。3回目の開催となる今回は、市内外の飲食・雑貨・物産等の35店舗が出店。復興支援として三条マルシェも参加し、イベントの準備・運営等を共同で行うことで、出店者同士で協力して作り上げる三条マルシェ特有の運営ノウハウを共有しました。

当日は雨が落ちることもなく、マルシェでは初めてオープニング花火が打ち上がりました。会場は家族連れで賑わい、電気を使ったおもしろ教室や積み木などの体験

型のブースに子どもたちは夢中になっていました。毎回市内だけでなく様々な地域から出店があり、近隣住民のほか市外からの来場者の姿も見受けられ、マルシェを通じたにぎわいの創出、交流拡大に期待が高まります。第4回は8月11日(土・祝)、第5回は10月20日(土)に開催予定です。



復興や防災にまつわる News

大型防火水槽工事見学会

7月7日(土)13時～15時に、にぎわい創出広場で大型防火水槽を埋める工事を見学できます。消防車の展示や消防体験も行われます。問合せ先:糸魚川市消防本部(TEL.552-0119)

ぼくたち! わたしたち!

子ども消防隊

子ども消防隊員を紹介します!

副隊長 堤 慎之介くん
(西海小学校6年生)



実際に大火を見たので、身近で火事起きた時に家族や近所の子どもたちを助けたくて子ども消防隊に参加しました。ストーブの近くに燃えやすいものを置かないこと、違う部屋に行く時は電源を切るようにすることを心がけています。

いとバタ会議録

マルシェは多くの人でにぎわっていて、被災した場所に人が集う様子が嬉しい気持ちになりました。広場の周辺道路に露天が軒を連ねていましたが、昔ながらの市を思わせるような雰囲気、ふらりと歩いてみたくなりますね。(編集部T)